

「こうふ開府 500 年記念事業」における経済波及効果について概要

調査の目的

2016 年にスタートした「こうふ開府 500 年記念事業」では、①過去に学ぶ（歴史・文化等の継承）、②現在を見つめる（賑わいと魅力の創出）、③未来につなぐ（新たな甲府の創造）の 3 つの基本理念を柱に市内や県内外など事業の対象や事業実施エリアを定め、様々な事業が展開されてきました。

本調査では、2016 年から 2019 年に実施された「こうふ開府 500 年記念事業」、信玄ミュージアム建設、メディア等の広告、事業実施による観光客増加による【経済波及効果】を試算しました。また経済波及効果だけでなく、市民等の地域に対する関心の向上に関する調査を行いました。

調査の方法

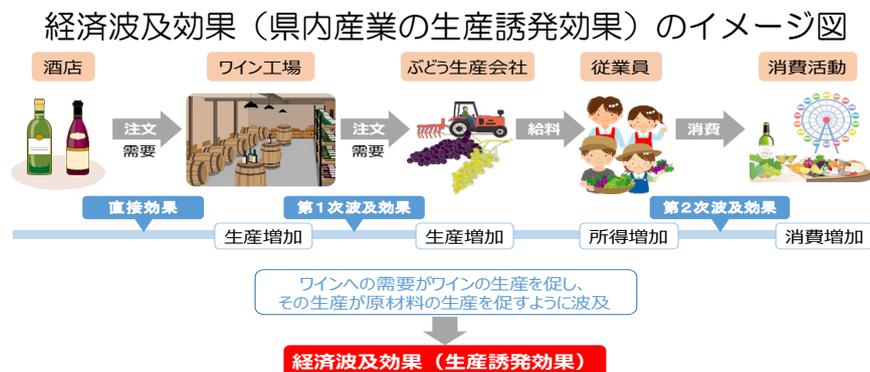
今回の試算では、「こうふ開府 500 年記念事業」について実施された各事業を、次の 6 つに分類し、事業実施による消費額及び参加者等による関連消費額について、「2015 年山梨県産業連関表」を用いて推計し、各年の経済波及効果を算出しています。分類としては①有料イベント、②物販を中心としたイベント、③展覧会・シンポジウム・講演会・勉強会・スポーツイベント等、④ウォーキングイベント、⑤オープニングイベント等、⑥その他です。また各年単位ではとらえることが困難な信玄ミュージアム建設やメディア等の広告、事業実施による観光客増加等の経済波及効果についてはそれぞれ別途経済波及効果を算出しました。

●経済波及効果（県内産業の生産誘発効果）とは「直接効果」、「第 1 次波及効果」、「第 2 次波及効果」の合計をいいます。

○「直接効果」とは事業実施による消費やイベントへの参加者等による消費によって、山梨県内の産業に誘発された生産額のことです。なお県内で調達できない分は県外から調達してくることになり、県内での生産活動に結びつかないため、分析から除外します。

○「第 1 次波及効果」とは「直接効果」により誘発された新たな生産額のことです。

○「第 2 次波及効果」とは事業実施による、「直接効果」や「第 1 次波及効果」から誘発された雇用者所得の増加に伴い生じる、消費活動から誘発される生産額のことです。



調査結果

2016年から2019年における「こうふ開府500年記念事業」実施による消費額の経済波及効果

	経済波及効果（総合効果）					誘発雇用者数
	直接需要増加額	県内産業への投入額	第1次波及効果	第2次波及効果		
2016年	172万円	224万円	126万円	23万円	23万円	10.2人
2017年	914万円	858万円	546万円	123万円	245万円	60.0人
2018年	6,393万円	7,285万円	4,173万円	1,003万円	1,217万円	405.3人
2019年	6,057万円	6,326万円	3,326万円	707万円	2,025万円	361.9人
信玄ミュージアム	9億110万円	6億5,167万円	6億5,167万円	1億3,907万円	1億1,036万円	4674.4人
プロモーション事業	4,090万円	5,324万円	2,861万円	751万円	479万円	253.4人
合計	10億7,736万円	8億5,184万円	7億6,199万円	1億6,514万円	1億5,025万円	5765.2人

2016年から2019年における「こうふ開府500年記念事業」におけるイベント参加者等の関連消費額による経済波及効果

	経済波及効果（総合効果）					誘発雇用者数
	直接需要増加額	県内産業への投入額	第1次波及効果	第2次波及効果		
2017年	613万円	479万円	385万円	103万円	125万円	54.9人
2018年	7億3,113万円	5億7,756万円	4億5,831万円	1億2,227万円	1億5,056万円	6,592.3人
2019年	3億286万円	2億5,801万円	1億8,874万円	5,100万円	6,312万円	2,456.3人
観光客増加による波及効果	65億8,964万円	53億8,277万円	41億1,832万円	10億8,450万円	13億8,682万円	59,442.6人
合計	76億2,976万円	62億2,313万円	47億6,922万円	12億5,880万円	16億1,775万円	68,546.1人

2016年から2019年の試算結果は、「こうふ開府500年記念事業」実施による消費額の経済波及効果は上記の表の通り、経済波及効果が見込まれた事業の実施による消費額8億5,184万円に対し、経済波及効果は10億7,736万円となりました。また「こうふ開府500年記念事業」におけるイベント参加者等の関連消費額による経済波及効果は消費額62億2,313万円に対し、経済波及効果は76億2,976万円となり、あわせて**87億712万円**が発生したと推定されます。

またこれ以外にもメディア等による広告の効果として、**6億1,895万円**、市民によるSNSの情報発信による広告の効果として**156万円**がありました。

また市民等の地域に対する関心の向上に関する調査では、地域住民に対し、甲府のもつ深い歴史的・文化的特性を幅広く周知することを通じて、新たな発見や高い関心を促す効果が大きいことがわかりました。記念事業期間中の2019年に中核市への移行を果たすために、住民・企業・自治体をあげての一体感の培養や住民意識の高揚に大きく貢献したと考えられます。

最後に2019年にはこうふ開府500年を迎えましたが、2021年には武田信玄公生誕500年という記念となる節目を迎えます。今後実施される記念事業についても引き続き、調査を行い、本事業が経済や市民にもたらす効果について、最終的には事業全体の効果の検証を行う予定です。

経済波及効果 合計 93億2,763万円